★ 提案 61 の賛成意見 ★

人々の病気や苦悩から膨大な利益を得ている製薬会社が道徳問題なのではありません。処方薬の値段高騰が生死に関わる重大問題なのです。治療方法があるにもかかわらず、C 型肝炎で亡くなるアメリカ人の数は、その他の感染病で亡くなる方の数よりも多くなっています。その理由ですか？料金を制御する製薬会社はほとんどの患者の手の届かない、*錠剤あたり $1,000 以上*を請求しています。

製薬会社の理不尽な例は価格つり上げだけではありません：

• 感染防御の一般的な錠剤の値段が一晩で $13.50 から $750 に上がり、それは*約 5000% の増大*になっています。• *広く使われている専門薬の平均年間費用は $53,000 と推定されており*、それは国の平均世帯収入（$52,000）よりも高く、平均年間社会保障費用 $15,000 の約 3 1/2 倍になっています。
• ある抗がん剤の費用は*一年 $300,000* です。

製薬会社は人々よりも利益を、患者の治療よりも株主への還元を重視しています。人命救助の薬の値段が高過ぎて患者が買うことができないため、何千人もの人々が亡くなっていたら、奇跡を起こす意味があるでしょうか？

California 州薬価救済法である提案 61 は、製薬会社の価格つり上げに抵抗します。そして、それによる救命が期待されます。その詳細は次のとおりです：この法令は、連邦退役軍人問題部門（DVA）が同じ医薬品に対して支払う価格以上の製薬会社と交渉するように California 州に義務付けます。

なぜ退役軍人局なのでしょうか？メディケアと異なり、DVA は医薬品の価格を交渉し、ほかの政府機関よりも平均して 20 ～ 24%、メディケアパート D よりも最大 40% 低く支払っています。医薬品の価格救済法は、California 州が、納税者のために同等の又はより良い取り決めを行い、それによって医療費を数十億ドル節約できるように、何百万人の California 住民のヘルスケアバイヤーとしての権限を与えます。

製薬会社は、*この法案によってすべての医薬品の価格を低下するようにという圧力がかかり、これによって追加利益が減ることを知っているので*、この法案反対のために 1 億ドルを費やす計画でいます。

私たちの言葉をそのまま受け止めないでください。製薬会社エグゼクティブのための出版物は、提案 61 は医薬品の価格を低下するための国の戦いにおける*「グラウンドゼロ」*と呼び、次のように警告しています：

「California 州の有権者がこの法案を承認したら、. . . 他の州、連邦政府、及びプライベートの [ヘルスプラン] 団体でも VA と同じ割引率を即座に要求するようになるのは間違いありません。*手短に言えば、国内の製薬業界全体が価格設定の大惨事になるでしょう。*」

しかし、製薬会社にとっての「価格設定大惨事」は苦境に立たされている消費者にとっては同等の価格救済になるでしょう。

提案 61 は、州内最大のヘルスケア提供組織、California 看護師協会会員 86,000 人、California 州最大の退職者グループ、AARP の会員 330 万人、都市同盟、California 州健康推進運動のほか、多数の労働組合、米国進歩民主党、上院議員 Bernie Sanders、前連邦労働長官 Robert Reich 氏のほかその他多数から強い支持を得ています。

医薬品の高価格と薬剤会社の欲に反対する戦いにご協力ください。提案 61 に賛成票を投じてください。詳細は *www.StopPharmaGreed.com* をご覧ください。

ZENEI CORTEZ、RN、共同会長
California 看護師協会会員 / 全国看護師組織委員会

NANCY McPHERSON、州ディレクター
AARP California

上院議員 **ART TORRES、**（退職）、議長
California 民主党（1996 ～ 2009 年）

★ 提案 61 の賛成意見に対する反論 ★

第一人者は、提案 61 は医薬品の価格を何とかして低下させるだろうという提案者の申し立てを拒否しました。実際、専門家は、提案 61 は医薬品の価格を増大させると警告します。

41,000 人の医師を代表する州最高の医療組織、*California 医療協会*は次のように述べました：

「California の医師たちは処方薬の購入能力について深く懸念していますので、本法案について評価したところ、深い欠点と実行不可能な点があるという結論に達しました。我々は、本法案は州の処方薬の価格を低下させるのではなく、増大させる可能性があると信じています。」

無所属で、名高い *California 州議会議員分析家*は、提案 61 は*「処方薬の（州）経費を上げる可能性がある。」*と、言います。

*California 納税者協会*は、提案 61 は、新官僚機構とお役所仕事を課し、無数の訴訟原因になり、納税者に数百万の負担がかかるので、反対しています。

California 州の部門、*外国戦争の退役軍人退役軍人 (VFW)* は、この提案は連邦退役軍人問題部門に与えられた特別割引を危うくし、退役軍人の医薬品価格を増大させるので、提案 61 に対する反対を要請しています。

本法案の裏には誰がいるのでしょうか？

提案 61 は、処方薬の年間売上 10 億ドルと HMO の運営をもたらす組織の社長、Michael Weinstein 氏が書き上げました。同氏のグループはキャンペーン基金として数百万を費やしています。しかし、彼は医薬品の価格設定条項から自分の組織を免除しました。自分で従いたくない、欠点だらけの発案の承認を California 住人に求めるべきではありません。

提案 61 は以下を含む、100 以上の CALIFORNIA 組織が反対しています：

• Vietnam アメリカ人退役軍人、California 州議会 • California 納税者協会 • 外国戦争の退役軍人退役軍人 (VFW)、California 州部門 • California NAACP • 産婦人科医合衆国議会 (ACOG)— 地区 IX/CA • California 医療協会

提案 61 は深い欠点があり、高い費用がかかります。反対票を投じてください。

www.NoProp61.com

STEVE MACKEY、会長
Vietnam アメリカ人退役軍人、California 州議会

WILLIAM M. REMAK、議長
California C 型肝炎特別専門委員会

ALICE A. HUFFMAN、会長
California NAACP

本ページに印刷されている反対意見は、著作者の意見であり、公的機関によってその正確性については調査されていません。

★ 提案 61 の反対意見 ★

提案 61 には深い欠点があり、見かけと違って高い費用がかかる企てです。

提案 61 は、処方薬の年間売上 10 億ドル以上と HMO 方針をもたらした組織で、物議を醸している社長、Michael Weinstein 氏が書き上げ、推進しています。奇妙なことに、彼は自分が書き上げ、推進している法案から自分のHMOを免除しました。

• *California 州外国戦争の退役軍人部門*は、提案 61 は退役軍人に損害を与えると警告しています。• 41,000 人の医師を代表する *California 医療協会*は、提案 61 は患者による医薬品の入手を削減すると警告しています。• *California 納税者協会*は、提案 61 は新官僚機構とお役所仕事、訴訟を課し、納税者に数百万の負担がかかると警告しています。

提案 61 は 88% の CALIFORNIA 州住民に適用されません。しかし、CALIFORNIA 州民全員にマイナスの影響を与えます

提案は、一部の政府職員と州の囚人を含む、特定州政府プログラムの仲裁グループの患者のみが対象になります。88% 以上の California 州住民が除外されます。1,000 万人以上の Medi-Cal 低所得層患者、民間健康保険とメディケア加入の 2,000 万人の California 州住民、及びその他の数百万人 — *全員が除外されます。*

提案 61 は退役軍人の処方薬費用を増大させる可能性があります

連邦退役軍人問題部門は退役軍人の処方薬に特別割引を受けています。本法案はこれらの割引を取り除き、退役軍人の処方薬費用を増大する可能性があります。このような理由から、以下を含む十数組の退役軍人グループが反対しています：

- *California 州外国戦争の退役軍人部門*
- *California 州議会、Vietnam アメリカ退役運人*
- *California 州部門、米国在郷軍人会*
- *California 州部門、AMVETS*

医師や患者の擁護者による提案 61 への賛成は、必要な医薬品の入手を分断させます

提案 61 は、患者による必要な医薬品の入手を妨げる事前承認手続きになり、新官僚機構になるでしょう。

提案 61 に反対する主要健康推進グループは次のとおりです：

• *California 医療協会* • *産婦人科医合衆国議会 (ACOG)— 地区 IX/CA* • *大 California 卵巣がん連盟*

提案 61 は医薬品の州経費を増大する可能性があります

提案 61 は、現在、州が受けている医薬品の割引を取り除き、年間数千万の処方薬費用を増大するでしょう。無所属の州立法分析家は、法案は多数の処方薬に対する州経費を上げるだろうと言います。

官僚機構、お役所仕事の増大と納税者の費用高騰

California 納税者協会は提案 61 に反対しています。法案はその実施方法がまったく曖昧です。本法案の可決は、政府の官僚機構、お役所仕事、訴訟原因が増え、州の機関がその実施に苦労し、納税者に数百万の負担がかかるでしょう。

促進者は自分の組織に特別条項を取り入れました

提案者は自分の十億ドル事業を免除し、本法案に関する訴訟関与について自分の特別な権利を条項に取り入れました。本法案は、彼の弁護士に実質上の白地小切手を支払うように、California 納税者に義務付けます。

提案 61 はさらにもうひとつの誤解を招きやすい、費用のかかる投票法案です。退役軍人を苦しめ、患者が必要な医薬品の使用を危うくし、処方薬の州経費を増大し、さらに多くの官僚機構、お役所仕事、訴訟を加え、納税者に数百万の負担がかかるようになるでしょう。

退役軍人、医師、患者の擁護者、納税者グループにご協力ください：提案 61 に反対票を投じてください。

www.NoProp61.com

DALE SMITH、指揮官
California 州外国戦争の退役軍人部門

RANDY MUNOZ、Latino 糖尿病協会副議長

GAIL NICKERSON、会長
僻地診療所 California 協会

★ 提案 61 の反対意見に対する反論 ★

製薬会社は、提案 61 は California 州内の医薬品購入のすべてを対象としていないので、本提案に反対していると有権者を信じさせたいのです。それは、NRA による襲撃銃禁止の反対は違う種類の銃を対象としていないので反対しているのと同様に滑稽なものです。

製薬会社はまさに、自分の法外料金と利益の維持だけを懸念しています！

歪曲で不正確な言明の期待される 1 億ドルキャンペーンに騙されないでください。提案 61 に反対投票を投じることは、製薬会社が有権者や有権者の家族から搾取させるだけです。

有権者への表明が何であろうとも、提案 61 に反対票を投じるキャンペーンはほとんど全てが州外製薬会社から基金が投じられています。以下は、製薬会社が *Pharmaceutical Executive* のような出版物で表明していることです：

「California 州の価格設定提案が可決されれば、アメリカの製薬業界は苦境から逃れられることはかなり明らかです … 国内すべての公共州の医薬品プログラムのほか、連邦メディケイドやメディケアプログラムの受給者を揺るがせるでしょう。」

製薬会社は愛国心に反して、退役軍人の医薬品価格を上げると脅迫していますが、それはただの脅しに過ぎません。連邦法では、退役軍人問題部門の割引が義務付けられており、製薬会社は親切心からくる退役軍人への医薬品割引について伝えていません。

以下の団体と共に提案 61 を支持してください：

• California 看護師協会会員 • AARP California • 都市同盟 • エイズ医療財団 • VoteVets 行動基金 • アジア太平洋地域保健機関協会 • 米国進歩民主党

提案 61 *だけ*が、一般市民による製薬会社の権限と欲に対する戦いを可能にします。*www.StopPharmaGreed.com*.

OTTO O. YANG、M.D.、科学局長
エイズ医療財団

CAPTAIN SHAWN TERRIS、（退職）、議長
California 民主党退役軍人集会

NOLAN V. ROLLINS、会長
Los Angeles 都市同盟 /California 都市同盟協会